

## 1. 令和元年度決算の概要

## 1. 概要

「改革プラン(2017)」の3年目となる令和元年度は、組合内病院が担うべき診療機能の充実・地域医療連携を図るとともに、経営改善の取り組みを進めた。

豊岡病院では、手術支援ロボットを用いた手術症例の適応範囲の拡大、入院支援センター対象患者の拡大や病棟薬剤師配置など診療機能の充実を図った。日高医療センターでは、検査部門をリニューアルするとともに、地域包括ケア病床を導入するなど回復期医療の充実を図った。出石医療センターでは、地域包括ケア病床を増床し回復期医療の充実を図るとともにレスパイト入院の受入にも取り組んだ。朝来医療センターでは、医師数が減少するなか手術件数を確保するとともに、レスパイト入院や豊岡病院からの転院患者の受入に取り組むなど、急性期医療・回復期医療の充実を図った。

経営改善に向けては、新たな指導料・管理料の取得により収益の改善を図るとともに、給与費・材料費の見直しなど、費用の抑制に取り組んだ。

この結果、病院組合全体の純損益は前年度に比べ627百万円改善したものの、628百万円の赤字となり、内部留保資金残高は400百万円減少し、246百万円の資金不足状態となった。

## 2. 収益的収支

## (1) 病院別の詳細

## ① 豊岡病院（経常収支△579百万円⇒△227百万円：+352百万円）

(税込、単位:百万円)

項目		H30決算	R1 決算見込	R1 決算	対H30決算	対R1 決算見込
業務量	入院患者数(人/日)	438	443	441	3	△2
	入院単価(円)	59,633	59,600	59,430	△203	△170
	入院収益	9,540	9,663	9,599	59	△64
	外来患者数(人/日)	962	970	965	3	△5
	外来単価(円)	16,408	17,800	17,637	1,229	△163
	外来収益	3,853	4,144	4,086	233	△58
収益的収支	医業収益	13,764	14,178	14,062	298	△116
	医業費用	16,295	16,970	16,876	581	△94
	医業収支(A)	△2,531	△2,792	△2,814	△283	△22
	医業外収益	2,374	2,904	2,906	532	2
	医業外費用	422	325	319	△103	△6
	医業外収支(B)	1,952	2,579	2,587	635	8
	経常収支(A)+(B)	△579	△213	△227	352	△14
	特別収支(C)	△1	0	0	1	0
純損益(A)+(B)+(C)	△580	△213	△227	353	△14	

(対H30決算)

<b>ア. 医業収支</b>	<b>△283百万円</b>
(i) 入院	+59百万円
・患者数増(+3人/日):神経内科+9人・整形外科△5人等	+91百万円
・単価減(△203円):手術料△1,250円・入院料+610円等	△33百万円
(ii) 外来	+233百万円
・延患者数減(△3,173人):	△52百万円
診療日数減(H30:244日→R1:240日)の影響等	
・単価増(+1,229円):注射料+995円等	285百万円
(iii) 医師・看護師の増等による給与費増	△259百万円
(iv) 収益増に伴う材料費(注射薬)増	△252百万円
(v) 医療機器保守や清掃委託等の経費増	△68百万円
<b>イ. 医業外収支</b>	<b>+635百万円</b>
(i) 構成市分賦金の増(建設改良経費、高度医療経費等)	+518百万円
(ii) 退職金の費用化処理終了に伴う繰延勘定償却の減等	+114百万円
<b>ウ. 経常収支(ア+イ)</b>	<b>+352百万円</b>

② 日高医療センター（経常収支△106百万円⇒△33百万円：+73百万円）

（税込、単位：百万円）

項目		H30決算	R1 決算見込	R1 決算	対H30決算	対R1 決算見込
業務量	入院患者数(人/日)	26	31	30	4	△1
	入院単価(円)	46,428	48,200	48,049	1,621	△151
	入院収益	441	547	532	91	△15
	外来患者数(人/日)	274	277	277	3	0
	外来単価(円)	16,577	17,500	17,435	858	△65
	外来収益	1,109	1,163	1,159	50	△4
収益的収支	医業収益	1,616	1,778	1,759	143	△19
	医業費用	1,902	2,057	2,037	135	△20
	医業収支(A)	△286	△279	△278	8	1
	医業外収益	233	262	262	29	0
	医業外費用	53	17	17	△36	0
	医業外収支(B)	180	245	245	65	0
	経常収支(A)+(B)	△106	△34	△33	73	1
	特別収支(C)	0	0	0	0	0
	介護収支(D)	△23	△8	△6	17	2
	純損益(A)+(B)+(C)+(D)	△129	△42	△39	90	3

（対H30決算）

ア. 医業収支

+ 8 百万円

(i) 入院

+ 9 1 百万円

・患者数増(+4人/日):眼科+2人 等

+ 7 3 百万円

・単価増(+1,621円):入院料+1,367円 等

+ 1 8 百万円

(ii) 外来

+ 5 0 百万円

・延患者数減(△421人):診療日数減の影響 等

△ 7 百万円

・単価増(+858円):注射料+929円(主に眼科) 等

+ 5 7 百万円

(iii) 眼科医師2名増加等に伴う給与費増

△ 5 1 百万円

(iv) 収益増(硝子体注射患者増)に連動した材料費(注射薬)増

△ 8 0 百万円

イ. 医業外収支

+ 6 5 百万円

(i) 構成市分賦金の増

+ 2 9 百万円

(ii) 退職金の費用化処理終了に伴う繰延勘定償却の減等

+ 3 5 百万円

ウ. 経常収支 (ア+イ)

+ 7 3 百万円

エ. 介護収支 訪看S Tひだか利用者数増による介護収支の改善

+ 1 7 百万円

③ 出石医療センター（経常収支+1百万円⇒△22百万円：△23百万円）

（税込、単位：百万円）

項目		H30決算	R1 決算見込	R1 決算	対H30決算	対R1 決算見込
業務量	入院患者数(人/日)	30	30	30	0	0
	入院単価(円)	27,506	28,000	28,591	1,085	591
	入院収益	300	307	312	12	5
	外来患者数(人/日)	70	70	68	△2	△2
	外来単価(円)	8,241	8,500	8,730	489	230
	外来収益	140	143	142	2	△1
収益的収支	医業収益	476	490	488	12	△2
	医業費用	702	730	733	31	3
	医業収支(A)	△226	△240	△245	△19	△5
	医業外収益	253	237	237	△16	0
	医業外費用	26	15	14	△12	△1
	医業外収支(B)	227	222	223	△4	1
	経常収支(A)+(B)	1	△18	△22	△23	△4
	特別収支(C)	0	0	0	0	0
純損益(A)+(B)+(C)	1	△18	△22	△23	△4	

		(対H30決算)
<b>ア. 医業収支</b>		<b>△19百万円</b>
(i) 入院		+12百万円
・患者数H30年度並み		±0百万円
・単価増(+1,085円):入院料+1,391円・リハビリ料△278円 等		+12百万円
(ii) 外来		+2百万円
・延患者数減(△763人):診療日数減、整形外科の減 等		△6百万円
・単価増(+489円):検査料+446円 等		+8百万円
(iii) 医師1名増加等に伴う給与費増		△23百万円
<b>イ. 医業外収支</b>		<b>△4百万円</b>
(i) 構成市分賦金の減		△15百万円
(ii) 退職金の費用化処理終了に伴う繰延勘定償却の減等		+10百万円
<b>ウ. 経常収支 (ア+イ)</b>		<b>△23百万円</b>

④ 朝来医療センター (経常収支△343百万円⇒△340百万円: +3百万円)

		(税込、単位:百万円)				
項目		H30決算	R1 決算見込	R1 決算	対H30決算	対R1 決算見込
業務量	入院患者数(人/日)	96	101	98	2	△3
	入院単価(円)	29,862	29,000	28,408	△1,454	△592
	入院収益	1,049	1,072	1,017	△32	△55
	外来患者数(人/日)	253	255	252	△1	△3
	外来単価(円)	7,231	7,300	7,289	58	△11
	外来収益	446	447	441	△5	△6
収益的収支	医業収益	1,553	1,579	1,518	△35	△61
	医業費用	2,256	2,184	2,168	△88	△16
	医業収支(A)	△703	△605	△650	53	△45
	医業外収益	439	352	353	△86	1
	医業外費用	79	45	43	△36	△2
	医業外収支(B)	360	307	310	△50	3
	経常収支(A)+(B)	△343	△298	△340	3	△42
	特別収支(C)	△204	0	0	204	0
純損益(A)+(B)+(C)		△547	△298	△340	207	△42

		(対H30決算)
<b>ア. 医業収支</b>		<b>+53百万円</b>
(i) 入院		△32百万円
・患者数増(+2人/日):内科+2人 等		+20百万円
・単価減(△1,454円):手術料△708円・入院料△482円 等		△52百万円
(ii) 外来		△5百万円
・延患者数減(△1,184人):診療日数減、外科の減 等		△9百万円
・単価増(+58円):画像診断料+22円・検査料+17円 等		+4百万円
(iii) 常勤医2名、非常勤医1名(R1.9~)減等に伴う給与費減		+48百万円
(iv) 収益減(麻酔科応援医師の減による手術減)に伴う材料費減		+21百万円
<b>イ. 医業外収支</b>		<b>△50百万円</b>
(i) 構成市分賦金の減		△86百万円
(ii) 退職金の費用化処理終了に伴う繰延勘定償却の減等		+34百万円
<b>ウ. 経常収支 (ア+イ)</b>		<b>+3百万円</b>
<b>エ. 特別収支</b>		<b>+204百万円</b>
(i) 旧和田山医療センター解体工事終了(H30年度)による改善		+204百万円

## (2) 事業合計

(税込、単位:百万円)

区 分	H30決算 (a)	R1決算 見込(b)	R1決算 (c)	対H30決算 (c)-(a)	主な病院別増減内訳	対R1決算見込 (c)-(b)
医業収益	17,409	18,025	17,827	418	-	△ 198
入院収益	11,330	11,589	11,460	130	豊岡+59, 日高+91, 朝来△32	△ 129
外来収益	5,548	5,897	5,828	280	豊岡+233, 日高+50	△ 69
その他	531	539	539	8	豊岡+6	0
医業費用	21,155	21,941	21,814	659	-	△ 127
給与費	11,134	11,460	11,419	285	豊岡+259, 日高+51, 朝来△48	△ 41
材料費	5,054	5,418	5,368	314	豊岡+252, 日高+80	△ 50
経費	2,837	2,943	2,910	73	豊岡+67	△ 33
減価償却費	1,909	1,906	1,907	△ 2	豊岡+13, 朝来△21	1
その他	221	214	210	△ 11		△ 4
医業収支(A)	△ 3,746	△ 3,916	△ 3,987	△ 241	豊岡△283, 出石△19, 朝来+53	△ 71
医業外収益	3,299	3,755	3,758	459		3
構成市分賦金	2,667	3,113	3,113	446	豊岡+518, 朝来△86	0
医業外費用	580	402	393	△ 187	豊岡△103, 日高△36, 朝来△36	△ 9
医業外収支(B)	2,719	3,353	3,365	646	-	12
経常収支 (A)+(B)	△ 1,027	△ 563	△ 622	405	豊岡+352, 日高+73, 出石△23, 朝来+3	△ 59
特別収支(C)	△ 205	0	0	205	朝来+204	0
介護収支(D)	△ 23	△ 8	△ 6	17	日高+17	2
純損益 (A)+(B)+(C)+(D)	△ 1,255	△ 571	△ 628	627	豊岡+353, 日高+90, 出石△23, 朝来+207	△ 57

## 新型コロナウイルスの経営への影響(R2年3月)

		豊岡	日高	出石	朝来	事業計
入院	患者数(人/日)	△ 4	△ 6	3	△ 23	△ 30
	影響額(百万円)	△ 7	△ 8	2	△ 20	△ 33
外来	患者数(人/日)	△ 62	△ 5	△ 8	△ 36	△ 111
	影響額(百万円)	△ 22	△ 2	△ 1	△ 5	△ 30
影響額計(百万円)		△ 29	△ 10	1	△ 25	△ 63

※影響額は1日当患者数の増減に診療単価及び診療日数を乗じて算出した。

## 3. 資本的収支

(税込、単位:百万円)

	H30決算	R1決算	増減	主な内容
資本的収入(A)	1,832	2,313	481	-
企業債	724	774	50	建設改良事業の整備財源
負担金	1,013	1,455	442	条例に基づく構成市負担金
他会計長期借入金	30	30	0	医師修学資金貸付金に係る財源
補助金	37	43	6	救急・精神に対する県補助金
投資回収金	23	11	△ 12	修学資金貸付金の返済
固定資産売却代金	5	0	△ 5	固定資産売却に伴う収入
資本的支出(B)	2,556	3,001	445	-
建設改良費	757	838	81	施設及び医療器械整備費
償還金	1,704	2,069	365	借入済企業債の返済
その他	95	94	△ 1	修学資金等の貸付金
差 引(A)-(B)	△ 724	△ 688	36	-

(1) 資本的支出 (2,556百万円⇒3,001百万円)

① 建設改良費 (757百万円⇒838百万円) (R1 決算額)

ア. 主な施設整備事業 282百万円

(i) 豊岡病院	ナースコールシステム更新工事等	93百万円
(ii) 日高医療センター	病院建物の耐震改修整備 (H30・R1年度の継続事業の2年目、総額220百万円)	189百万円

イ. 主な医療器械整備事業 556百万円

(i) 豊岡病院	体外式結石破砕装置、治療計画システム等	467百万円
(ii) 日高医療センター	検体検査システム等	50百万円
(iii) 出石医療センター	骨密度測定装置等	16百万円
(iv) 朝来医療センター	超音波画像診断装置等	23百万円

② 償還金 (1,704百万円⇒2,069百万円) 2,069百万円

平成29年度に整備した高額医療器械(ダヴィンチ・MR I等)に係る償還開始に伴う増

(2) 資本的収入 (1,832百万円⇒2,313百万円) (R1 決算額)

① 企業債 (724百万円⇒774百万円) 建設改良事業の増に伴う増 774百万円

② 負担金 (1,013百万円⇒1,455百万円) 1,455百万円

平成29年度整備に係る元金償還の増に伴う負担金の増

(3) 収支不足額

収支不足額688百万円は過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金及び一時借入金等で補てんした。

4. 年度末内部留保資金

(1) 令和元年度末内部留保資金の状況

内部留保資金は前年度から400百万円減少して年度末残高△246百万円となり、資金不足となった。

(単位:百万円)

	H30決算	R1決算	増減
①前年度末内部留保資金	322	154	△168
②当該年度変動額	△168	△400	△232
ア. 収益的収支による増減	556	288	△268
(1)純損益	△1,254	△628	626
(2)資金変動を伴わない収益・費用	1,810	916	△894
イ. 資本的収支による増減	△724	△688	36
③当該年度末内部留保資金	154	△246	△400

(2) 年度末内部留保資金の推移

(単位:百万円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1
年度末内部留保資金	1,450	798	322	154	△246

※企業債償還前払済分(1,134百万円)に係る分賦金見込み

R3年度:285百万円、R4年度:119百万円、R5年度以降:730百万円